

カスパーゼ-7

Cat. No. EXWM-4236

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 カスパーゼ-7は、カスパーゼ-3 (EC 3.4.22.56) およびカスパーゼ-6 (EC 3.4.22.59) と同様に、エフェクター/エクスクューショナーカスパーゼです。これらのカスパーゼは、細胞のポリペプチドの大部分（例：ポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼ (PARP)) のプロテオリシスを担当し、アポトーシス表現型を引き起こします。カスパーゼ-2 (EC 3.4.22.55) およびカスパーゼ-3のP5における疎水性残基は、より効率的な加水分解をもたらしますが、カスパーゼ-7のこの位置におけるアミノ酸残基は影響を与えません。カスパーゼ-7は、イニシエーターカスパーゼ（カスパーゼ-8 (EC 3.4.22.61)、カスパーゼ-9 (EC 3.4.22.62)、カスパーゼ-10 (EC 3.4.22.63)) によって活性化されます。N末端プロドメインの除去は、大サブユニットと小サブユニットの間のリンカー領域での切断の前に発生します。ペプチダーゼファミリーC14に属します。

別名 CASP-7; ICE $\square$ アポトーシスプロテアーゼ3; ICE-LAP3; アポトーシスプロテアーゼMch-3; Mch3; CMH-1

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.22.60

CAS登録番号 189258-14-8

反応 P1の位置にアスパラギン酸 (Asp) 残基が $\square$ 密に必要で、好ましい切断配列はAsp-Glu-Val-Asp $\vdash$ です。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5 $\square$ 9週間です。ご要望に $\square$ じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。